

佐賀県は氷川町の対口支援自治体のリーダーとして先導
(6県:佐賀・鳥取・島根・広島・愛媛・高知 2政令市:浜松・広島 ※8月25日時点)

人的支援

R8.9補:約4,200万円 ※8月25日時点

職員派遣(氷川町への支援の延べ人数は1,096名(県671名、市町425名))
氷川町役場10名(対口支援自治体の総括、リエゾン、保健師等)
避難所支援10名
家屋被害認定調査20名
熊本県災害対策本部2名(リエゾン)
上下水道技術職員
緊急消防援助隊:イオンモール熊本で救助活動、救急搬送支援
DMAT(災害派遣医療チーム):県内7医療機関
JMAT(災害医療チーム):佐賀県医師会
DPAT(災害派遣精神医療チーム):県内4医療機関
DHEAT(災害時健康危機管理支援チーム):県保健所医師2名、県保健師2名
DWAT(災害派遣福祉チーム):県内介護福祉士
災害支援ナース:県内医療機関看護師2名
日赤佐賀県支部:唐津市赤十字病院医師等
佐賀県社会福祉協議会:氷川町災害ボランティア運営支援3名
防災ヘリコプター“かちどき”が現地に活動
陸上自衛隊V-22(オスプレイ)が佐賀空港から救援物資を輸送



8月4日

氷川町へ現地確認
藤本町長と意見交換

物資等の支援

佐賀県

トイレカー1台、避難所トイレ資機材10個(4,200回分)、
通信確保機材(スターリンク)2台

市町

トイレカー、トイレトレーラー、シャワーテント、給水車



トイレトレーラー



シャワーテント

県・市町・CSOが連携した

“オール佐賀”での対応

佐賀県の強み

CSO活動

20団体以上が支援

特定非営利活動法人

ピースウィンズ・ジャパン



写真提供
ジャパンハート

医療相談ブース設置
巡回訪問による健康チェック

医療
支援

救助

空飛ぶ捜索医療団
“ARROWS”派遣

避難所シャワー設置



写真提供:ピースウィンズ・ジャパン

特定非営利活動法人
日本レスキュー協会

災害救助犬を派遣
ペット避難所設置



写真提供:日本レスキュー協会

ペット
支援

一般社団法人

日本カーシェアリング協会



写真提供
日本カーシェアリング協会

物資ニーズ調査
支援物資提供

物資
支援

特定非営利活動法人
テラ・ルネッサンス



写真提供 テラ・ルネッサンス

公益社団法人 Civic Force

避難所開設サポート、食料等物資支援、
スポットクーラー、ポータブル電源提供

写真提供
Civic Force

特定非営利活動法人
難民を助ける会

シャワーブース設置
炊き出し



写真提供:難民を助ける会(AAR JAPAN)

関係者
調整

氷川町対策本部会議へ参加
CSO連携室の事務局

一般社団法人
佐賀災害支援プラットフォーム(SPF)



写真提供:PBV

避難所
支援

氷川町社会福祉協議会と連携し
町内の炊き出しを全て采配



公益社団法人

ピースポート災害支援センター(PBV)

熊本地震での支援の経験を佐賀県民の大切な命を守る取り組みにも活かしていきます